

福祉文教常任委員会

1. 日 時 平成29年6月20日（火）

午後 4時48分 開会 午後 5時11分 閉会

平成29年6月21日（水）

午前 9時30分 開会 午前11時 6分 休憩

午後 1時15分 再開 午後 2時 3分 閉会

2. 場 所 第3委員会室

3. 出席委員 出戸清克委員長、南藤陽一副委員長、吉村範明委員、吉本慎太郎委員、
片山瞬次郎委員、宮西健吉委員、宮川吉男委員

4. 欠席委員 なし

5. 委員会の議題

《予防先進部》

【市民病院】

- 〈報告事項〉・平成28年度決算見込みについて
・第2次国民健康保険小松市民病院改革プランの改訂について

【いきいき健康課】

- 〈報告事項〉・はつらつ健診，長寿健診について
・成人用肺炎球菌ワクチン予防接種の実施について

【保険年金課】

- 議案第49号 専決処分の承認を求めることについて中
専決第14号 小松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

《ふるさと共創部》

【市民協働課】

- 議案第43号 小松市認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する
条例について

【はつらつ学習課】

- 〈報告事項〉・平成29年度地域づくり人材育成講座の開催について
・第13回小松市公民館フェスタの開催について

《市民福祉部》

【こども家庭課】

- 議案第44号 小松市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を
定める条例の一部を改正する条例について

- 〈報告事項〉・第2子以降の放課後児童クラブ利用料無料化について
・小松市立蓮代寺保育所民営化事業優先交渉権者の決定について

【ふれあい福祉課】

- 〈報告事項〉・避難行動要支援者名簿について

《教育委員会》

【未来の教育課・教育研究センター】

- 〈報告事項〉・中学生サミットについて
・子育て講座について

【ひととのづくり科学館】

〈報告事項〉・夏休みのイベント等について

【教育委員会事務局】

〈報告事項〉・松東地区新しい学校の校名について

6. 委員長報告の要旨

■地域づくり人材育成講座について

市民力と地域の絆を活かした共創の地域づくりを推進するため、これからの地域活動を担う人材育成を目的として、平成27年度より実施しているコミュニティカフェ講座を本年度も開催するとのこととなります。講座は地域課題の解決の手がかりや活動事例を学ぶとともに、受講者間の交流とネットワークづくりに繋がり、これまで20代から70代までの幅広い年齢層が参加し、地域でのカフェの開設など様々な取り組みにつながっているとのこととなります。

全国的にも注目されているコミュニティカフェについては、今後、更に市民に浸透させ、その取り組みを拡げていくためにも、活動事例や活動支援について、より広く周知していくよう求めたものであります。

■中学生サミットについて

生徒の自治的意識や主体性の向上等を目的に平成27年度から始められた中学生サミットについては、ネットとの付き合い方を深く考えさせる機会として、ネット問題をテーマとして取り上げ、小学生や保護者をも巻き込みながら、積極的な取り組みを行っているところであります。情報モラルを含めたネットとの付き合い方を小松市全体で考え、共有していくことは大変意義深いこととなりますが、そのことに反し、ネットへの接続が可能なICT機器の多様化や家庭への浸透により、子どもたちの身近にICT機器が溢れ、ネットへのアクセスが容易になっていることも事実であります。今後は、「いしかわ子ども総合条例」の趣旨を再確認し、携帯電話端末等の利用制限やフィルタリング等によるインターネットの利用環境の整備についても教育委員会として積極的に啓発していくよう求めたものであります。

また、中学生サミットのテーマについては、ネット問題やいじめ問題の原点である人間関係を考える機会として、今後も様々な切り口で推進させるよう求める意見が出されました。

■松東地区の新しい学校について

金野、西尾、波佐谷の3小学校を統合し、平成30年4月に新たにスタートする新小学校の名称が「小松市立松東みどり学園」に決定されました。

「みどり」は松東地区をイメージさせる「里山の木々の緑」、「^{かわせみ}翡翠のすむ清流」、「山々に産する碧玉」から「たくましい生命力」、「清らかで澄んだ心」、「磨かれて光る知性」を表し、平成33年4月に小中学校を一体化し義務教育学校となることを見据え、松東中学校の創立以来長く地域で親しまれている「松東」の継続使用と「学園」の使用が決定されたとの事でありました。

また、校歌は、小松市立高校の卒業生で全国的に活躍中の三國浩平氏が現在の松東中学校の歌詞をもとに新たに作曲し、校章については、現在の松東中学校の校章をもとに小松市立高校芸術コースの生徒にデザインを依頼するとの事でありました。

新しい学校が里山地域のシンボルとして、地域とともに大いに発展していくよう期待するものでありますが、先行して小学校が無くなる金野、西尾両校下の児童に対しては、通学面等において特段の配慮を求めるとともに、平成33年4月に開学が予定されている義務教育学校整備までのスケジュールや教育内容については、早い段階から地域住民に説明し、しっかりと理解を得ていくよう求めたものであります。